

第3章 旧沼津御用邸苑地の価値

第1節 本質的価値

旧沼津御用邸苑地は、御用邸造営以前より維持されてきた松林と苑地外に展開する眺望景観が評価された自然的な名勝である。また、松林と苑路や御用邸時代の建造物等との調和も旧沼津御用邸苑地を価値づける欠かせない要素となっている。

旧沼津御用邸苑地の価値を沿革や空間構成から以下のとおり整理する。

①近代以前からの松林の優れた風致

旧沼津御用邸苑地の松林は、近代以前から御林として維持されてきた。苑地内では、海風によって陸地側に傾斜した松林が続き、場所によっては根上りの松が見られる。また、樹齢を重ねたクロマツが多く残存し風致的に優れた松林となっている。

②沼津御用邸苑地の広大な敷地に展開する多様な眺望景観

旧沼津御用邸苑地は、島郷海岸に維持されてきた防風林の中にある。苑地内では、松の巨木が叢生する苑路を巡りながら、海岸沿いから広がる駿河湾や牛臥山、伊豆半島への眺望、松越しに望む富士山など多様な景観が展開する。

③明治期に建てられた貴重な御用邸建築を備えた名勝地

旧沼津御用邸苑地に現存する建造物群は、明治期に造営されたものとして貴重であり、また良好な状態を保持している。沼津御用邸の造営過程や利用状況については多くの記録が残され、建築史、皇室史の観点から旧沼津御用邸苑地の歴史的価値を高めている。

第2節 構成要素の特定

旧沼津御用邸苑地における本質的価値を有する要素とそれ以外の要素について整理する。本質的価値を構成する要素としては、旧沼津御用邸苑地の風致景観を成す松林、眺望景観、御用邸時代の建造物や構造物が挙げられ、都市公園として整備されたものについては、それ以外の要素として区分した。

[表 3-1] 構成要素

範囲	分類	区分	構成要素の名称等
指定範囲内	本質的価値を構成する要素	植栽	クロマツ、芝生、車廻しの小松、西附属邸前のソテツ
		建造物	東附属邸、西附属邸、厩舎（主馬・新主馬）、官舎、御文庫、防空壕、湯沸所、ポンプ舎
		構造物	本邸正門、西附属邸正門、江ノ浦寅石積塀、御湯殿遺構、石橋、貯水槽、井戸
		その他	苑路、微高地、馬場跡
	上記以外の要素	公園施設	東附属邸庭園、西附属邸梅園、管理事務所、茶室（松翠亭）、四阿、変電室、便所、休憩室兼作業小屋、ポンプ室、案内板、掲示板、作業小屋、草花畑、回転ゲート 他
		その他	歴史民俗資料館
指定範囲外	本質的価値と関連する要素	植栽	クロマツ
		眺望対象	富士山、牛臥山、駿河湾、伊豆半島、瓜島
		建造物	車庫、油庫、便所
		構造物	貯水槽
		その他	微高地
	上記以外の要素	公園施設	便所、案内板、掲示板、フェンス、駐車場、道路、遊歩道
		その他	防潮堤、社